

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（11月分）

留学先大学：漢陽大学校

氏名：齊藤杏菜

こんにちは。漢陽大学に留学させていただいている齊藤杏菜です。11月になり、ソウルもだんだんと寒くなってきました。今は一日を通して大体10度からマイナス3度くらいです。この間は雪も降って本格的に冬になってきたなと感じています。しかし、韓国の冬はまだまだこれからが本番だと聞いたので、今からとても心配しています…。



雪が降った時の写真です。  
クリスマスが近づいたからなのか、とてもきれいなイルミネーションが施されていました。

● 今月参加したイベントについて

今月は、学生団体が行うものではなく、漢陽大学が行う「Study abroad fair」というものに参加しました。このイベントでは、漢陽大学と協定を結んでいる世界の大学がそれぞれブースを出して自分の大学を紹介するものです。私も参加して福井大学を紹介してきました。紹介と言っても、プレゼンテーションなどをしたわけではなく、自分のブースに来た人の質問に答えたり、来てくれた人に自分の大学の魅力を紹介したりする、というものでした。私は午後に授業があったので午前しか参加できませんでした。午前だけでも思っていたより人が来てくれたので嬉しかったです。また、来期から福井大学に留学する学生とも少し話をすることができました。



↑こんな感じで各大学のブースがありました。

- PBLについて

私はPBLとして韓国での外国人・移民に対する態度や対策について調べたいと思い、9・10月は主に文献調査をしていました。そして今月やっと現地調査に行ってきました。私の住んでいるソウルは都会なので自分の経験や文献調査から状況が分かりやすいと思ったので田舎の方に調査に行きたいと思い、東海市（福井県敦賀市と姉妹都市）というところに行ってきました。ソウルから高速バスで3時間ほどかかりました。来月、移民に携わっている機関にインタビューに行く予定なので、今回は東海市の下調べということで実際に街を探索してそこで感じたこと、体験したことをインタビューの内容に活かそうと思っています。

- サークルについて

最初の月例報告書から書いていますが、サークルは今私の留学生活の中でとても大きなものになっています。授業はもちろん大事ですが、授業や課題で溜まってしまったストレスを発散する場として大活躍しています。また、韓国語を実践練習する場としてもとても大切に思っています。私は今期、韓国語の授業をとっておらず、自分で勉強している分と韓国人の友達と話す時以外に韓国語を使う機会が無いので、サークルでしっかり韓国語を使う時間ができたのは私にとって、とても勉強になっていると思っています。実際に、入部した初めの頃と比べて、リスニングもスピーキングも少しずつではありますが、進歩しているように感じています。

今月はオーディションがあつて、今はオーディションが終わって、1月にある新年パーティーに向けて練習しています。やはり、言語面で困ることがまだまだたくさんあり

ますが、助けてくれる人が多かったり、大事な時は録音させてもらうなど、自分で工夫できるところは工夫したりしているので何とかやっています。この私の所属しているダンスサークルは活動も多く、出欠などのルールも少し厳しめですが、テスト前はしっかり休みの期間が入るので、勉強との両立がしやすく助かっています。

10 月末くらいから話題になった韓国大法院の徴用工の問題もあり、留学生活の中で問題が起こることを心配していましたが、大学内では今までと変わりなく問題も起きませんでした。韓国語で日本人に対する差別用語があるのですが、1 度だけ、出かけた時に通りすがった人に「胛발이다! (豚足を意味する)」と言われたことがありました。しかし、私の友達やサークルの人たちはいつも親切に接してくれます。もし、これから韓国に留学を考えていて日韓関係のことで心配しているなら、そんなに心配しすぎる必要もないと思います。ただ必ず、日本人をよく思わない人や、差別的に接してくる人がいるということは理解しておかないといけないと思います。